

注目商品トレンド

リョービ

色調の違いで3つの
グレードを識別
わかりやすいリョービ
電動工具の売場提案

リョービの電動工具では、ユーザーに合わせて3つのグレードをラインアップしており、商品本体についても、グレードごとに統一した色調を採用することで、識別のしやすさに配慮している。今期リョービでは、この発想を店頭でも生かせるような売場づくりを提案している。わかりやすさと、すっきりとした美観をもたらし電動工具の売場づくりに着目したい。

「プロ」「DIY」
「エントリー」の
3グレードに分類

リョービでは、電動工具本体のカラーをユーザーのターゲットごとに緑、赤、青の3種類に分類した。2014年12月に大幅なリニューアルを実施した同社のホームページでも、わかりやすく色分けされたページづくりを行っている。

これを店頭でも生かそうというのがリョービの提案だ。15年5月ごろから一部ホーム

センターの店舗で売場づくりの検証を実施し、検証結果に基づき改良を加えた上で、この7月から本格的な提案をスタート。すでに大型店を中心に新しい売場がつけられている。

色調による分類は、緑が「職人が選ぶパワーツール 口用モデル」、赤が「DIYを極めたい方のパワーツール DIY用モデル」、青が「簡単・手軽に扱える、初心者を選ぶパワーツール エントリー用モデル」となっている。色分けされたトップボード

や電飾看板を使用し、対象商品をわかりやすく分類するという発想だ。

グレードを、統一された色調で視覚的に強調することで、だれが見ても識別できる売場をめざす。接客に十分な人員が割けない場合にも、ユーザーが識別することができるとの仕組みだ。

実際に新売場を導入した店舗では、わかりやすさだけ



↑上から「プロ用モデル」のPOP例「DIY用モデル」のPOP例「エントリー用モデル」のPOP例

ディスクグラインダ G-110PH

全長	100mm	全高	88mm
丸形ヘッド	長時間の作業も疲れにくい リッパリ割れる専用 52mmの特殊磨り 細かい箇所にも入りやすい リョービ独自の特殊設計のギヤヘッド 耐衝撃性に優れたサブシンク構造 最大出力 900W のハイパワーモデル		
極細	2.5mm		
低速型			

ディスクグラインダ G-103D

手にやさしく握りにくいソフトグリップ
・102mm レジッドヘッド (厚3mm) 付
・細径の丸形ヘッド
・アース不要の二重絶縁構造

全長	87mm
全高	100mm
全幅	100mm
重量	1.0kg
電圧	100V
消費電力	940W
コード長さ	2m
全長	119mm

金属の塗装剥がしやレンガの切断をしたい方に
ディスクグラインダ MG-12

配石の寸法：外径 100mm

↑リョービが今期から提案するグレード別に色調を分けた売場例

←POPもグレードごとに変わるほか、多様な内容のモニター映像でも情報訴求を強化

でなく、全体的に売場がきれいに整頓され、視覚的にすっきりと見えることで好印象を与える効果も生まれている。

POPの記載内容もグレードごとに統一

またリョービでは、わかりやすさを徹底するために、商品ごとに掲示されるPOP

にも、グレード別のメインカラーのラインを入れておくほか、記載内容もグレードによって変えている。

たとえば主に仕事で使うユーザーをターゲットとする「プロ用モデル」の場合は、商品の仕様を判別できる特長や数値を大きく表示している。

一方「DIY用モデル」のPOPでは、工具の商品名をメインに打ち出し、製品の特徴をわかりやすく箇条書きで表示。

また「エントリー用モデル」の場合は、どんな作業に使用する電動工具なのか、使用目的などを最初に大きく表示。使用シーンのカラー写真を添えることで、あまり商品知識のないユーザーでも簡単に商品が選べるように工夫されている。

併せて小型の液晶ディスプレイで動画を流し、使用方法などの情報発信を行うなど、徹底して購入者の視点に立った売場づくりを提案する。

リョービでは店舗の広さや顧客層によって、さまざまなバリエーションを提案しており、3種のうち2種のみを展開するなど、柔軟な対応も可能だ。